



都市計画道路 岩沼中央線

国井 宗和

問 見直し変更後の計画内容を伺う。

市長 計画内容は延長2360メートルで、508メートルほどが整備完了しています。

実験を踏まえた変更案は

問 平成24年度の社会実験を踏まえた、路線整備の計画変更を伺う。

市長 中心市街地活性化基本計画では、交通安全整備事業として計画されています。地域の理解や協力を頂きやすい形で変更します。

問 都市計画道路岩沼中央線との違いを伺う。

市長 改良事業計画は、地元の要望を受け車道5・5メートルの2車線、東歩道1・5メートル、西側約1メートルとして現況幅員での計画です。

問 歩行者、車両等にとって、安心安全な道路、歩道に変わるか。

市長 歩行者と車道の分離を行い、電力柱、電話柱は沿線の宅地への移設をお願いし、有効な幅員の拡幅を行っていきます。

問 整備事業後、北側県道を含め

た残る区間についてはどうするか。

建設部長 町内の意向を踏まえながら、県に同じような手法の整備を要望したいと思っています。

問 商店街への影響について伺う。

市長 整備完了後は、歩行者にとって良い道路になると思います。

問 実施予定、着工時期について伺う。

市長 25年度中に電柱移設、設計の手直しをし、その後2力年で道路整備の工事を行いたいと思います。

問 同路線内の埋設水道管の交換等の事業計画を伺う。

水道事業所長 市道の改良計画に合わせて敷設・更新する予定です。

問 水道管の交換と合わせて、下水道管の新規埋設はできないか。

市長 一体的な整備は望ましいが、多額の経費が必要になります。現在の利用状況から早急に改修することは難しいので、必要事情が生じた場合に、可否を勘案し対応します。



震災復興に関連して

大戸 幸次

問 土砂運搬経路となっている市道等の補修について伺う。

市長 道路の補修については、東北国道協議会や県の市町村長会議でも話題とされ、県市長会としても申し入れ等を行っています。状況に応じて、適切に市としてやらなければならない部分については、財源等の問題もありますが事故等がないように進めたいと思います。

土砂運搬路の安全確保は

問 土砂運搬経路となっている市道等の安全対策について伺う。

市長 土砂運搬路となっている特に狭い市道等については、待避所の設置あるいはスピードの規制を促す看板等を設置するなど、今後とも業者と連携しながら安全対策を進めていかなければならないと思います。

問 関係町内会等への情報提供について伺う。

市長 これまでにない大型車両が頻繁に通るといふような状況で、道路の補修あるいは安全対策、同時に地域の皆さん方に適切な情報



土砂運搬の例

を提供しなければなりません。国の省庁でも、連絡の頂けるところと全く情報が提供されていない省庁があります。情報収集はしっかりと、情報提供は適宜適切に努めていきます。

問 補修等に係る予算措置について伺う。

市長 復興事業に伴うものは国が責任を持つという話を頂いています。が、まだ不明確なところがありますので、できるだけ早く、国の対応としていただけるように、引き続き要望していきたいと思っています。